

光友会・社友会合同 入会歓迎の会～歓迎のあいさつ～

昭和シェル社友会 会長 市川善之

只今、ご紹介をいただきました昭和シェル社友会の市川です。本日は新しく光友会、並びに社友会に入会された方々に直接お会いし、歓迎のご挨拶ができることを大変嬉しく思っております。また、このような機会を設けていただきました会社のご配慮に心より感謝を申し上げます。

ここでは光友会の皆様に少し社友会についてご紹介させていただきたいと思えます。社友会は今から36年前、1989年に発足し、本部と8つの支部(北海道、東北、新潟、関東、中部、四日市、関西、九州)から構成されています。現在の会員数は2030名、長い間同じ職場で苦楽を共にしてきた気心を良く知る者同士の集まりで、

①会社の応援団であり続けること

②会員相互の親睦を図ること

を目的にしています。

そして『社友会活動に参加して健康寿命を延ばそう!』をスローガンとして、本日同席しております各支部長を中心に地域の特性を活かしつつ、各種行事を行っています。

ここで今年1月、平野副社長にもご参加いただきました関東支部の長寿慶祝会での出来事をお話したいと思います。長寿慶祝会は喜寿、米寿、白寿の方にお祝いを申し上げます会ですが、今回、初めて白寿、99才の方、お二人にご参加いただきました。お二人は共に大正13年11月のお生まれ、

翌月12月には昭和に元号が変わりますので、昭和と共に生きて来られた方々です。入社後、昭和32年、一緒に半年間の海外研修へ出向かれ、帰国後は四日市製油所の建設をはじめ、数多くの苦楽を共にされたとお聞きしています。

今回、お二人ともお嬢様が同行されたのですが、偶然にもお嬢様たちは四日市の社宅で一緒に遊んだとのこと、なんと今回の再会が、57年振りだと伺って長寿慶祝会が会員のみならず、ご家族にとってもそれぞれの家族の歴史を振り返る良い機会となったことを喜んでおります。

我々は入社から退職まで会社というコミュニティを中心に過ごしてきました。退職後も数多くのコミュニティに属しながらセカンドライフを過ごしていきます。

①幸福は老後にあり

②幸福とは二人以上で仲良く暮らす事

正に、そのとおりだと思います。

どうぞ、皆様にとって、光友会がまた社友会が素晴らしいセカンドライフの一助となることを祈念いたしまして、歓迎のあいさつとさせていただきます。

『ご入会おめでとうございます、共にセカンドライフを楽しみましょう♪』

ありがとうございました。

以上